

道路事業

北海道開発については、現行の「第8期北海道総合開発計画」(平成28年3月29日閣議決定)において、「世界の北海道」を目指し、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付けており、食と観光を担う「生産空間」の維持・発展に取り組んでいます。一方、近年の自然災害の激甚化・頻発化や地球温暖化防止が重要な政策課題となっている中で、北海道の豊かな自然や地域資源を活かしたグリーン社会の実現を主導していくことが求められています。

道路における具体的な取組としては、「食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現」に向け、広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備等を推進します。また、「世界水準の観光地の形成」に向け、ドライブ観光、シーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズム等を推進します。

近年、激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震、インフラの老朽化の現状等を踏まえ、「強靱で持続可能な国土の形成」に向けて、災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化、防災・通行の安全・景観の向上に資する無電柱化の推進、社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策、積雪寒冷地におけるインフラ分野のDX及びi-Construction(i-Snow)等を推進します。

また、「ゼロカーボン北海道等の実現」に向け、道の駅を活用した次世代自動車普及促進の取組や道路照明灯のLED化等を推進します。

1 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間の連携を確保するため、高規格道路等のネットワークの構築を推進します。

<高規格道路>

- ・北海道横断自動車道根室線 本別～釧路(令和6年度全線開通予定)
- ・国道44号 尾幌糸魚沢道路

<一般国道>

- ・国道38号 釧路新道(令和6年度全線開通予定)



北海道横断自動車道根室線 本別～釧路



国道38号 釧路新道

2 世界水準の観光地の形成

「シーニックバイウェイ北海道」の推進

シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。平成17年度より開始し、現在、14の指定ルートと3つの候補ルートがあり約500団体が活動しています。

また、シーニックバイウェイ「秀逸な道」では、道内各地の活動団体が薦める特に魅力ある景観等を有する道路を認定し、景観の維持・形成や誘客に向けた情報発信等を重点的に実施します。

令和3年度に2区間、「弟子屈町の国道243号美幌峠～屈斜路湖」と「中標津町道 武佐北19号道路(ミルクロード)」を認定して本格展開を開始し、多様な関係主体の連携のもと、道路を地域の観光資源として活用することにより、北海道のドライブ観光をより一層促進します。

「ゼロカーボン北海道」の取組

<道路ネットワーク整備>

・CO₂削減に大きく寄与する道路ネットワークの整備、渋滞対策等を推進。

<道路照明灯のLED化>

・道路照明灯をLED化するとともに、設置間隔を広げることにより、消費電力を削減し、CO₂排出量を削減。

<i-Construction>

・建設施工段階において、測位技術・センサー・通信技術等を組み合わせることで施工の効率化を図り、建設機械からのCO₂排出量を削減。



ICT建設機械での切土法面の掘削状況

3 強靱で持続可能な国土の形成

災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月閣議決定)を踏まえ「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」を令和3年4月に策定し、防災・減災、国土強靱化の取組を重点的かつ集中的に推進します。

<高規格道路>

- ・北海道横断自動車道根室線 本別～釧路(令和6年度全線開通予定)
- ・国道44号 尾幌糸魚沢道路

<一般国道>

- ・国道44号 根室防雪(令和7年度全線開通予定)
- ・国道272号 上春別防雪

冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、一般国道等の現道における防雪対策、道の駅において関係機関と合同で行う防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、災害発生時における被災地の支援のため、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊:リエゾン[※]を含む)等により、被害拡大の防止、被災自治体管理施設の被災状況の調査、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

- ・国道243号 美幌峠雪崩対策

(注: 重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員)



防災道の駅「厚岸グレルパーク」における防災訓練(R3.6)

社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

- ・国道38号ほか 橋梁修繕、トンネル修繕、舗装修繕

防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者の連携の下、無電柱化を推進します。

- ・国道38号 釧路橋北地区電線共同溝ほか2か所

交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」[※]を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進する。また、通学路における安全対策においては、令和3年6月に千葉県八街市で発生した事故を受けて実施した通学路合同点検の結果に基づき、対策を推進する。

- ・国道38号 白糠恋問交差点改良ほか8か所

(注: 事故ゼロプラン: 交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組)

路線・地区名	主要事業
E38 北海道横断自動車道根室線	[高規格道路の整備] 本別～釧路(令和6年度全線開通予定)
E44 国道44号(北海道横断自動車道根室線)	[高規格道路の整備] 尾幌糸魚沢道路
国道38号	[道路の改築] 釧路新道(令和6年度全線開通予定)
国道38号ほか	[老朽化対策] 橋梁修繕、トンネル修繕、舗装修繕
	[無電柱化の推進] 国道38号 釧路橋北地区電線共同溝、国道44号 釧路末広町電線共同溝・釧路入江電線共同溝(令和5年度新規事業化)
国道44号	[道路の防災・減災対策] 根室防雪(令和7年度全線開通予定)、雪裡橋架替
国道38号ほか	[交通安全対策の推進] 国道38号 白糠恋問交差点改良(令和5年度新規事業化)、国道44号 川口中央整備、国道240号 阿寒交通事故対策・阿寒付加車線整備
	国道243号 西春別歩道整備(令和5年度新規事業化)、国道244号 尾岱沼視距改良、国道391号 塘路路肩改良・塘路中央帯整備(令和5年度新規事業化)、国道392号 白糠路肩拡幅
国道243号	[防雪対策] 美幌峠雪崩対策
国道272号	[道路の防災・減災対策] 上春別防雪
国道335号	[道路の防災・減災対策] 標津防災(令和4年10月31日全線開通)